

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成31 年2 月 22 日

事業所名 かけはし

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		提供スペースを確保している。	機能訓練個別訓練時適切な場所作りを行う。
	2	職員の配置数は適切である	○		基準配置以上の専門職員を配置している。	臨床心理士、STの配置を行いたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		事業所全体がバリアフリー対応	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		研修等を受けてもらえる環境作りをしている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		都度アンケートを踏まえて意向を確認している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに公開及びサロンや報告書でお知らせし	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者評価資格者はいるが他事業所に依頼出来ていない。	今後は第三者評価機構に委ねて行く方向で検討。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月1回第三金曜日に研修会を実施している。	質の向上を常に視野に入れ関わる職員にキャリアアップを目指す環境整備を行う。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		年2回の支援会議でアセスメント分析、モニタリング、ニーズを元に計画書作成している。	各担当児童指導員にも意見をもらう機会を多くとる。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		K式検査等医療機関でのツールを参考にしている。	アセスメントツールの勉強会を開催する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		曜日により担当者からの発案がある。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		曜日によりカリキュラムに変化を持たせている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休みは学習、外出、運動を中心に提供している。	体験の機会を多くする。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		作業療法士の意見や発案をとりいれている。	担当者の意見を取り入れながら行っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		前日及び朝礼申し送り等で確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終了時送迎後に振り返りを行っている。	時間をできるだけ取れる環境整備が必要である。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		特記用紙に細かく記入している。	適宜改善できる体制づくりを考える。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		年二回支援会議実施	必要に応じて支援計画の見直しができることをスタッフに周知させる。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			特色のある活動内を提供していく。

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		○		利用者の中に相談支援事業を利用された方がいない。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている		○		学校送迎時に情報を確認、3か月予定表提出、緊急時連絡先等を記載。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		常時看護師が対応できるように配置している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		希望がなかった。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		訪問来訪して頂いたり、外部研修を実施している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		近場の施設を利用したり、公園遊びで触れ合う機会を作っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		取り組みたい。案内があれば参加させて頂く。
保護者への 説明責任等	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○		利用時には連絡ファイルに記載させて頂いている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		研修会を行ったり講演会を行っている。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○		利用時開始時に説明し、変更のある場合は適時お知らせしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○		電話やSNS使い適時支援させて頂いている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		年4回サロン開催集まる機会を設けています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している		○		重要事項でお知らせ説明し迅即に対応できるように整備しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		四季報お便りほか、毎日ブロー等で発信している。
	35	個人情報に十分注意している		○		個人情報使用承諾書に則り行っている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている		○		様々なツールを用意し、支援している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		行事に参加して頂けるように案内を配布、掲示している。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		研修予定計画に挙げブログ等に様子を発信している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回消防署と連携して実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修にて実施した意見交換を行う。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	身体拘束せざる得ない利用者がいない。取り組んだことがない。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者の意向により対応している。	医師の意見書等看護師と連携を取り行う。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリノートで重大な事故を防ぐ取り組みをしている。	